

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 冬休み号

令和3年12月24日（金）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

年末年始は日本の伝統文化に触れられるよい機会です

今年も残すところ、1週間となりました。年の瀬を迎え、お忙しい日々をお過ごしのことと思いますが、保護者や地域の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

いよいよ明日から、子どもたちが心待ちにしている冬休みが始まります。年末年始は、日本の伝統行事や古来から伝わる文化に触れられる機会がたくさんあります。

おせち料理は、多くのご家庭で作られるかと思いますが、元来、おせちは年神様（正月の神様）へのお供え料理であり、新しい年の幸せを願い、神様とともにいただく縁起ものの料理となっています。



山や海の幸が食材として使われ、新しい年の五穀豊穡、家内安全、子孫繁栄など、一品一品の料理に縁起の良い意味や願いが込められています。私自身、家庭では毎年、「田づくり」を任されて作っているのですが、「田づくり」に使われるイワシ（カタクチイワシの幼魚）にまつわる話として、その昔、イワシを田んぼの肥料にしたところ大変豊作になり、五万俵もの米が収穫できたことから、田を作ることになんで「田づくり」と呼ばれるようになったそうです。

今年の冬休みは、ご家庭でも、お子様と一緒に日本の伝統文化に触れる機会をご検討されてみてはいかがでしょうか。よいお年をお迎えください。

仲よし級が来年のカレンダーを版画で制作しました！

今月の図工の授業で、仲よし級の子どもたちが、来年のカレンダーを版画で制作しました。校内だけでなく、地域でお世話になっている施設（交番・図書館・美術館・コミセン）にも掲示を依頼いたしました。機会がございましたら、是非ご覧ください。



仲よし1組作品



仲よし2組作品



仲よし3組作品



仲よし4組作品